

文化芸術活動基盤強化基金 クリエイター等育成プロジェクト支援（補助型）
 育成プロジェクト概要 【分野横断の新領域】

1. 団体名	株式会社 ○△20アート <small>法人格の後ろを1文字空けてください。</small>		
2. プロ	記入済みのため変更不要です。 <small>提案するプロジェクト名を記入してください。</small>		
3. 対象分野	分野横断的新領域	ジャンル	
4. 実施期間	令和○年△月▽日（月）～令和◇年□月▽日（水）		
5. プロジェクトの趣旨・目的（句読点を含め、400字程度）	第Ⅰ期～第Ⅱ期（プロジェクト全体）の実施期間を記入してください。 <small>プロジェクトの趣旨・目的を記入してください。</small>		審査基準【ウ】に対応
6. プロジェクト全体の計画概要（令和10年度までの計画）			
1年目 ＜令和6年度＞ （句読点を含め、300字程度）			審査基準【ウ】に対応
2年目 ＜令和7年度＞ （句読点を含め、300字程度）			<small>・各年度におけるプロジェクトの実施概要をそれぞれ記入してください。</small>
3年目 ＜令和8年度＞ （句読点を含め、300字程度）			
4年目 ＜令和9年度＞ （句読点を含め、300字程度）			
5年目 ＜令和10年度＞ （句読点を含め、300字程度）			
7. プロジェクトの中核となる者の氏名・略歴	〔氏名〕 〔略歴〕	<small>・応募する育成プロジェクト全体を統括する人物について記載してください。 ・職歴、芸術団体所属歴、主な芸術活動歴を記入してください。</small>	

8. 育成について ※異なる育成方法による育成を同時に行う場合は、欄をコピーして追加してください。

i. 育成対象者について

対象とする職種	プロデューサー、演出家、○○	※募集案内P.6「若手クリエイター等の例」を参照の上で記入してください。
人数	○○人	『B-1 別紙1 育成対象者リスト』と対応させてください。 経歴を記載してください。
育成の理由・目的	現在○○分野には、日本に九州体の○○○○を担える人があらず、育成を進める必要が外に発信する経験をさ 若手クリエイター等の育成が各分野や団体に現状どのようなニーズがあるのか、エクトを通して、△ また将来どのような影響を与えたいのかなど具体的に記入してください。ける様々な面を知る 通してノウハウを若手	

育成対象者（予定）を具体的に想定済みである（を入れた上で↓欄のみ記入してください）

[当該クリエイター等を育成対象とする理由（400字程度）]

第一に今回育成対象として内諾を得ている6名は過去に本団体主催のワークショップに参
 ●○が認めている人である。
 中でも△△ら2名はワー
 △△賞に名前があがっ
 前向きにとらえてくれ
 もらっている未来の明
 る。さらに、今回のブ
 ち、もしくはこれから
 なるたどうと期待が持てる者たちである。海外経験を積むことで日本の○○を担える人である。

審査基準【力】に対応

○を学んだ経験があり、
 意欲的であり、今回の話も
 あり、すでに一定の評価を
 得て経験させたい1人であ
 る。もうすぐ達しそうな者た

育成対象者はプロジェクト採択後に選考予定（を入れた上で↓欄のみ記入してください）

[選考基準]

受賞歴：○○新人賞ノ
 経歴：○○参加経験あ
 年齢：○○歳程度

[選考基準]

○選考基準が確定していない場合は、選考の目的、考え方などを具体的に記載してください。

[選考方法]

推薦・一部公募を予定
 （○年○月決定見込み）

[選考方法]

○選考の公募の方法など(目的・基準等に沿った方法として、団体推薦、自己推薦などのあり方)を具体的に記載してください。

[選考者]

○○○○（△△所属）

[選考者]

○決定していない場合は、予定者または、選考者のイメージなどを具体的に記載してください。

ii. プロデューサー、指導者等について

人数	△人	※別紙2「プロデューサー、指導者等リスト」に氏名・職種・所属・経歴・実績を記載してください。
----	----	--

プロデューサー、指導者等を具体的に想定済みである（を入れた上で↓欄のみ記入してください）

[当該人物をプロデューサー、指導者等とする理由（400字程度）]

○○業界の先駆者であり、現在も○○分野の第一線で活躍するクリエイターである。世界
 ○を受賞した。以後、○○○の名前で海外フェスティバルへの招聘の声が毎年かかって
 ○公演は現地の人に好評であり、来場者まで本盛況だった。また、○○のワークショップでは世界各
 講生が集まり、毎年
 希望があり、今回の
 活躍している。また
 プロジェクトを行うことにより○○を経験できる若手クリエイターが増え、海外に目を向け展開していく人材が増えるこ
 とも想定でき、ふさわしいのではと考えている。

審査基準【キ】に対応

たいという
 生がすで
 え、今回

プロデューサー、指導者等はプロジェクト採択後に人選予定（を入れた上で↓欄のみ記入してください）

[選考基準]

海外経験がある（○○出身、○○公演主催、H○○年、○○に△△に参加）
わが団体の○○に参加
○○の持つ問題意識は

[選考基準]

○選考基準が確定していない場合は、選考の目的、考え方などを具体的に記載してください。

[選考方法]

○○への参加をしたい
面談の機会を設け、○

[選考方法]

○選考の公募の方法など(目的・基準等に沿った方法として、団体推薦、自己推薦などのあり方)を具体的に記載してください。

iii. 海外展開の方法、体制について

海外展開の方法

審査基準【ウ】【ク】に対応

海外展開の方法について、クリエイター等のグローバルな訴求力をどのように高めるのか、その際にどのような層を新規ターゲット層として想定しているか、またその方法が芸術的・文化的な観点からどのように斬新であるか等を記載してください。その上で、それらを実現するためにどのような創意工夫を行うのか具体的に記載してください。

国内外の関係者・
団体等との連携・
協力体制

審査基準【ク】に対応

海外展開に向けて交渉中・交渉予定の連携・協力体制について記載してください。

9. プロジェクト終了後（令和11年度以降）の構想

審査基準【シ】に対応

特に、本プロジェクトの実施により得られたノウハウやネットワークを活用し、本事業終了後も継続的に、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に関して取り組む予定の内容を記載してください。

10. 本プロジェクトの実施により、期待される成果や波及効果（我が国の文化芸術の評価や国際的プレゼンスの向上、文化芸術を通じた相互理解の促進、コンテンツ市場の拡大等）

審査基準【ス】に対応

若手クリエイター等の国際的な活躍により期待される成果や波及効果について、文化庁が作成した本事業のロジックモデルの測定指標を参考にしながら記載してください。

（ロジックモデル掲載先）

<https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kikin/2024/3138.html>

育成対象者リスト

団体名	水色のセルは自動入力
プロジェクト名	

氏名	年齢	職種※	所属	経歴
基金 太郎	25	プロデューサー	無所属	●○卒業、●●賞受賞
●● ○○	※職種は、募集案内P6「若手クリエイター等の例」を参照してください。			●○コンクール○位入賞
□△ ●●				●○在学中
未定(選考予定・3名)	-	プロデューサー	-	-
●● ◇◇	42	演出家	○○	●○所属、●●に出演
□□ ●●	21	○○	無所属	●○演劇研修所修了
▲▲ ◆◆	19	○○	○○	●●留学経験者
■ ■ △△	24	○○	無所属	●○コンクール受賞

※今回応募するプロジェクトの育成対象者を記入してください。

※欄が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

※職種は、募集案内P6「若手クリエイター等の例」を参照してください。

プロデューサー、指導者等リスト

団体名	水色のセルは自動入力
プロジェクト名	

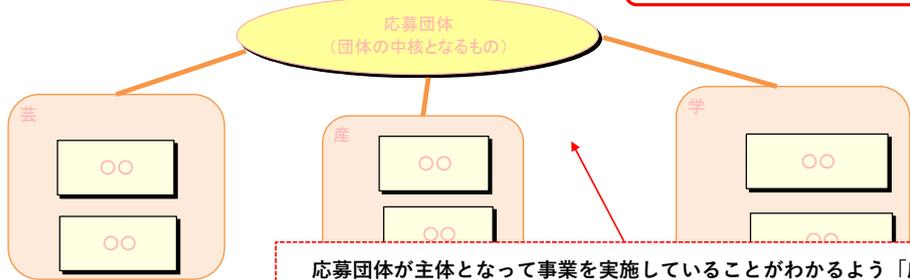
育成対象とする職種	氏名	職種	所属	経歴	実績
プロデューサー	新高 開	プロデューサー	〇〇	〇〇賞受賞	〇〇賞受賞
プロデューサー	●● 〇〇	プロデューサー	●〇	前△△劇場芸術監督	△△祭に招聘
プロデューサー	□△ ●●	プロデューサー	□〇	前□□国際芸術祭チーフディレクター	●〇への出演
〇〇	●● ◆◆	俳優	無所属	〇〇賞受賞	◎◎賞受賞
演出家	〇〇 ●●	演出家	●〇	〇〇賞受賞	●〇在籍経験あり
<p>◆「育成対象とする職種」は、『B-1 別紙1 育成対象者リスト』と対応させてください。</p> <p>◆「実績」には、海外における活動経験や連携があれば必ず記載してください。</p>					

※今回応募するプロジェクトのプロデューサー、指導者等を記入してください。

※欄が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

プロジェクトの実施体制

団体名	水色のセルは自動入力
プロジェクト名	審査基準【エ】【ク】に対応

1. 応募団体と他の団体等との連携体制図		
2. 連携内容の詳細	1についての詳細を記入してください。	<p>応募団体が主体となって事業を実施していることがわかるよう「応募団体と他の団体等との連携体制図」を作成するとともに、芸（文化芸術団体等）、産（民間企業）、学（教育・研究機関）、官（国内外の行政があれば含む。）、海外の関係機関など、連携する人材・団体等やその役割、連携方法などが明確に分かるよう、図及び箇条書き等を用いて記載してください。</p> <p>また、体制図には団体の中核となる者を明記してください。</p> <p>なお、実行委員会形式で実施する事業を含む場合は、当該委員会内部の体制まで分かるように記載してください。</p> <p>国際的なネットワーク、海外との交渉にあたる体制についても記載してください。</p>
3. 海外の関係機関等との関わり方	<p>応募するプロジェクトの海外展開にあたり、協力する海外の関係機関等とどのような連携・協力体制が取れるか、具体的に記入してください。</p>	
4. 育成ノウハウを応募分野に普及する取組・手法・体制	<p>今回の事業により蓄積される育成ノウハウをどのように応募分野に普及させるのか、想定している取組や構築したい体制について記入してください。</p>	
5. 関係機関とのビジョンの共有方法	<p>定期的な報告会の実施や、共有のための体制があれば記載してください。</p>	
6. 広報計画等	(1)国内外の批評家、専門家等の招聘・派遣計画	<p>評価を得るために批評家・専門家等を招聘・派遣等する計画があれば記載してください。</p>
	(2)海外におけるプロモーション・マーケティング計画	<p>プロジェクトの全体的な海外におけるプロモーションやマーケティングの実施計画に加え、それらの効果を分析・検証するための体制があれば記載してください。</p>

【第 I 期】 実施活動一覧（総表）

団体名	水色のセルは自動入力
プロジェクト名	

活動番号	個別活動名	実施期間		備考
		始期	終期	
1	●●○○	R6年6月◇日	R8年9月◇日	
2	○○▽▽	R7年2月◇日	R7年11月◇日	
3	△△○○	R6年8月◇日	R9年2月◇日	海外公演実施
4				
5				

※今回応募するプロジェクトにおいて実施
 ※欄が不足する場合は、適宜行を挿入して

プロジェクトを構成する活動について、活動ごとに、活動名およびその実施期間を記載してください（1活動のみの場合も記入してください）。

（活動の例）

- ・○○○○○人材育成に関する活動
- ・○○○○○公演、展示・出品など
- ・海外における「○○○」芸術祭、展覧会などに向けた普及的な取組（海外展開に参画する者以外の若手育成や、本プロジェクトで実施する活動の普及を目的としたワークショップ、シンポジウム等）
- ・○○○○○調査研究（当該分野の海外動向などのマーケティング、活動の社会的・経済的インパクトに関する専門家による評価・分析など）

活動 番号	個別活動名	3年目 令和8年度(2026年度)												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	●●○○		WSの実施				WSの実施							
2	○○▽▽													
3	△△○○	制作(*/*~*/*)						海外公演(*/*~*/*)				成果報告 会	成果報告 会	
4														
5														

※欄が不足する場合は、適宜行を挿入してください。

【活動詳細（個表）】

B-5

団体名 _____ プロジェクト名 _____

水色のセルは自動入力

『B-3総表』の活動番号を記入してください。

活動番号

1

※複数の活動を行う場合は、シートを複製し活動毎に作成してください。

個別活動名

●●○○

『B-3総表』の個別活動名と一致させてください。

本活動の内容

※育成対象者名については下線を引いてください。

〔活動の趣旨、概要〕

活動の趣旨概要について具体的に記入してください。

〔活動の内容〕（演目、曲目、作品名、あらすじ、主な出演者・作家、主なスタッフ等）
（展示等の目的・テーマ、作品例、主な作家、スタッフ等）

審査基準【ケ】【コ】に対応

【公演】

公演名：○○

曲目：○○○○

指揮：○○○○

脚本：○○○○

ソリスト：○○○○

演出：○○○○

合唱：○○合唱団

振付：○○○○

あらすじ：○○○○

○○○○○○○○○○

作曲：○○○○

出演：○○○○○

○○○○○

舞台監督：○○○

舞台美術デザイン

社、東京

大道具：○○○○

衣裳：○○○○

・必ず活動内容を具体的に記入してください。
・複数の演目・曲目・作品がある場合は、作品ごとに主な出演者・作家・スタッフ等を記入してください。
・経費を計上している出演者・作家・プロデューサー・スタッフ等については、可能な限り記入してください。
・育成対象者名については下線を引いてください。
・本活動によってクリエイター等のグローバルな訴求力がどのように高まるのか、また本活動はどのような観点で斬新であるのかについても記載してください。

○○○○○○○○

○○○

他○○名管弦

○（○○株式会社

【関連ワークショップ】

実施時期：令和○年○月上旬、○月下旬

講師：○○○、○○○

対象者：○○～○○までの○○○○○（○○○○により募集）

開催日程・回数等

【公演】令和○年○月▽日～△日（○日間、△回公演）
【ワークショップ】令和×年▽月上旬予定（全◇回程度）

会場

○○ホー

・活動を実施する会場について記入してください。
・海外公演・展示等の場合の会場名、所在地については、原語または英語で記入し、読み仮名をカタカナで振ってください。
・未定の場合は会場名の後ろに（予定）（交渉中）と入れてください。

地
市名)

会場の選定理由

想定される来場者数

計○○人

〔本活動において実施予定の広報・マーケティング等〕

本活動におけるプロモーションやマーケティングの実施計画に加え、それらの効果を分析・検証するための体制があれば記載してください。

審査基準【サ】に対応

本プロジェクトの第Ⅰ期の成果目標

審査基準【ウ】に対応

募集案内P.8「プロジェクトの評価指標及び目標値の設定」も参照し記載してください。

プロジェクト名

〇〇 人

企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数（予定）	目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標値の設定根拠」欄に現時点の予定数を職種ごとに記載してください。（実演家：〇〇、〇〇〇、作曲家〇人）
	計測・算出方法	
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）（予定）	目標値	〇〇 件
	目標値の設定根拠	
	計測・算出方法	
共同制作等に関わった海外アーティスト・キュレーター等の数（予定）	目標値	〇〇 人
	目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> ※海外指導者等の数も含めて算出してください。 ※「計測・算出方法」欄に具体的な氏名等も記載してください。
国内外で展開される公演・展示等の数（ステージ数・日数等）（予定）	目標値	〇〇 回
	目標値の設定根拠	
	計測・算出方法	
国内外で展開される公演・展示等の入場者数（見込）	目標値	〇〇〇〇 人
	目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> ※現時点の予定数を活動ごとに記載してください。（活動1：〇〇人、活動2：〇〇〇人・・・）
	計測・算出方法	
その他	実施状況・実施内容に対する評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト独自の指標を設定する場合は記入してください。 ・当該指標で何を図ることで、何の達成度の把握ができ、それがどのように本プロジェクトの目的に関係するのかも記載してください。
	目標値	
	目標値の設定根拠	
	計測・算出方法	
育成の到達目標	プロジェクトの実施により、育成対象者がどのように育成されるかを記載してください。	

【収支予算書（兼「消費税等仕入控除税額予算書」）】

団体名 プロジェクト名 水色のセルは自動入力

消費税等仕入控除税額の取扱 1 課税事業者
プルダウンで選択。 審査基準【オ】に対応

事業の収支	収入（千円）		支出（千円）	
	入場料収入等 (D)	*****	助成対象経費 小計 (A)	*****
公的補助金等 (E)	*****	うち課税対象外経費	*****	
民間寄付金等 (F)	*****	うち課税対象経費（標準税率）	*****	
共催者負担金 (G)	*****	うち課税対象経費（軽減税率）	***	
広告収入・その他 (H)	*****	助成対象経費に含まれる消費税等の額 (B)	*****	
収入総額 (I)	*****	助成対象経費合計 (A)-(B)	*****	
		助成対象外経費 (C)	*****	
		支出総額 (A)+(C)	*****	

水色のセルは自動計算

【支出内訳】

区分	項目	細目	内容詳細	単価等(税込・円)	数	税区分
助成対象経費						
稽古費						
1	稽古料			*****		
2	稽古料			*****	**日	**人
3	稽古料			*****	**日	**人
4	稽古料			*****	**日	**人
5	稽古場借料		〇スタジオ	*****	**日	
6						
7						
8						
出演費						
1	【活動1】					
2	出演料		〇〇〇〇（所属〇〇〇）	*****	**	
3	出演料		〇〇（所属〇〇〇）（予定）	*****	**	
4	【活動3】					
5	出演料			*****	**人	
6	出演料			*****	**人	
7	指揮料			*****	**人	
8	演奏料		〇〇〇〇（所属〇〇〇）	*****	**人	
音楽費						
1	作曲料			*****	**曲	
2	音楽制作料		□□スタジオ（予定）	*****	**式	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
文芸費						
1	演出料	山田		*****		
2	脚本料	佐藤		*****		
3	舞台監督料	鈴木		*****	**日	
4	舞台監督助手料	田中		*****	**日	
5	舞台美術デザイン料	高橋		*****		
6	照明プラン料	中村△△（株）〇〇照明		*****		
7	音響プラン料	佐々木□□（株）〇〇サウンド		*****		
8	著作権使用料	200€（1€=155.59円）		*****	**件	
1	育成指導料	〇〇〇 外*名		*****	**人	*日
1	コーディネート料	〇〇〇 外*名		*****	**人	*日
2	企画制作料	〇〇〇 外*名		*****	**人	*日

消費税等仕入控除税額の取扱で「1 課税事業者」を選択した団体は、各細目のうち、不課税取引・非課税取引（消費税が課税されない取引）について「課税対象外」を、また軽減税率の場合には「軽減税率」を選択してください。課税取引が否かについては、各団体の税理士等に確認してください。

該当する細目を募集案内P14を参考にご記入ください。

単価は税込で記入してください。

単価・数量を可能な限り記入してください。単価・数量欄は整数のみ入力できます。単価に小数点以下が発生する場合は、「一式」として入力してください。

内容詳細は、可能な限り具体的に記入してください。予定の場合は「（予定）」として記入してください。

単価が外国通貨の場合には、「内容詳細」欄に為替レートを記入し、「単価」欄には円換算した価格を記入してください。

